

学級編制に関する請願

2023年6月8日

長野市議会議長 寺沢さゆり 宛

請願者 住所

[Redacted]

氏名

[Redacted]

住所

[Redacted]

氏名

[Redacted]

住所

[Redacted]

氏名

[Redacted]

住所

[Redacted]

氏名

[Redacted]

紹介議員

西脇 かおる
松井 英雄 有自裕幸雄
野々村 博美 三井 結光
佐藤 久美子 西沢 利一
小林 史子 小泉 一真

【請願趣旨】

私たちは長野市立三輪小学校特別支援学級所属の3年生の児童の保護者です。共生社会の形成に向けて、インクルーシブ教育が求められる中、学級編制に関して大きな疑問を抱いたため、長野市議会としても検討していただきたく、ここに請願いたします。

障害があってもなくても共に学ぶ場をつくるというインクルーシブ教育が求められる今の時代の中で、特別支援学級所属の児童・生徒も通常学級の授業に参加することが多々あり、通常学級にも席を用意しています。~~国に対して通常学級及び特別支援学級の学級編制基準の引き下げと教職員の増員を求めることは前提ではありませんが、国の法律の改正には時間を要すると思われま~~

~~そこで、国に対して通常学級及び特別支援学級の学級編制基準の引き下げと教職員の増員の実現に向けて意見書を提出しつつ、それが実現するまでの措置として、長野県に対して単独の財政措置ととも~~
~~学級編制の基準となる一学級の児童・生徒の数に特別支援学級所属の児童・生徒の数を加えて学級編制をするなどの対応がとれるよう要望してください。~~

また、特別支援学級所属の児童・生徒は、その障害や発達特性上、新しい場所・環境に慣れることや他者との人間関係の構築に時間を要する子、狭い場所や人の密集した場所が苦手な子も多く、学級編制に伴い通常学級での授業を受けることが困難になることが多々あります。

長野市は年度途中でも転出入がある地域で、学年の途中で児童・生徒数が増減することも少なくないとお聞きしました。

是非、年度初めの学級編制において、前年度より学級数が減少し、一学級の児童・生徒数が大幅に増える状況になった時には、前年度の学級数を維持し、年間を通して安定して基準の児童・生徒数以下を維持すべく、それぞれの市町村の状況に応じて柔軟に加配教員を配置出来るよう、長野県に対して要望してください。

併せて、資料で紹介した事例のような、学年全体の児童・生徒数が変わらない状況での学級数の減少という状況が発生しないよう、是非、長野市の単独の財政措置として柔軟な対応をお願いします。

さらに、特別支援学級所属の児童・生徒は、一人ひとりが多種多様な特性を抱えていて、対応を間違えようつや引きこもりといった二次障害を引き起こしてしまうことが多々あります。新たに飛び込む社会の中で、その子の抱える障害や特性を理解した人の存在は、その子自身のみでなく、家族や支援者にとっても、大きな拠り所となります。

是非、在籍する児童・生徒のためにも、その家族・支援者・関わる教職員のためにも、学校内の特別支援^{教育}コーディネーターの専門性の向上・専任化をはかるよう長野県へ意見書を提出してください。また、市としても研修の充実など積極的に取り組んで下さい。

【請願項目】

共生社会の実現に向けて、インクルーシブ教育の更なる充実を図るため、通常学級の児童・生徒と特別支援学級の児童・生徒が共に学べるよう学級編制において特段の配慮を旨とし、長野県

1. ~~基礎定数と加配定数からなる教職員定数における加配定数の拡充と、通常学級及び特別支援学級の学級編制基準の改善を図るよう、国に対して意見書を提出すること。~~

2. 通常学級から特別支援学級への移籍などで、学年全体の児童・生徒数が変わらない状況で通常学級の学級数が減少し、環境の変化が児童・生徒たちに大きな影響を与える場合は、状況を丁寧に把握しながら総合的に判断し、長野市で柔軟な対応を~~考える~~こと。

3. 長野県に対して特別支援^{教育}コーディネーターの専門性の向上を図るとともに、専任化を推進するよう意見書を提出すること。